

問題事象



…は①→②→③の手順で、主要因を突き止める

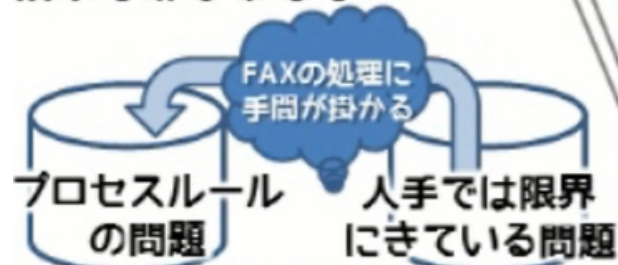
①想定される要因で、仮仕分けする



②目標達成を最も阻害している(解決したら効果大の)問題事象を選ぶ
※ここで、全て解決しようと欲を出してはダメ。QuickWinの定義を思い出しましょう。



時には！
①で想定した要因と異なる結果もあることも?!



③業務フロー図を遡って、問題発生的主要因を突き止める。



課題が沢山上がったら…

実際、作者は、10日間で120以上の現場のそれらをどのようにまとめて、解決に導くか?!

生の声を抽出します。

